



問一 漱石の作品「ではない」ものを選ぶ問題です。『蜘蛛の糸』は芥川龍之介の作品。『三四郎』は小学生にとっては馴染みが薄いかもかもしれませんが、漱石の代表作の一つである。

問二 語句の知識を問う問題です。「貫禄」がある人とは、地位にふさわしい堂々とした落ち着きのある人のことです。

問三 状況から人物同士の関係性を読み取る問題です。漱石が「笑って」いる点をふまえ、親しみを読み取ってください。また、いくら親しい仲でも、友人の母親の前で「からかつ」たりはしないでしよう。

問四 登場人物の発言の意図を読み取る問題です。子規は、今思い浮かんだばかりの歌を書きとめた半紙を差し出しています。ここから、漱石に何を求めているのかわかるでしょう。

問五 傍線部の具体的な内容を問う問題です。直前のエピソードから、子規が「只者ではない」、つまり並外れて優れていると思われる点を探してみましょう。

問六 登場人物の発言の意図を読み取る問題です。子規が「この頃」「盛ん」に短歌に取り組んでいるからには、エの「本気で短歌に取り組んでいるわけではない」とは言えません。また、漱石が今回の子規の短歌の出来についてふれていないことを押さえれば、ウが残るでしょう。

問七 傍線部の具体的な内容を問う問題です。「写生」について、子規が語っている所を参考に、選択肢を比較しましょう。まず「正確に写しとる」ことが大事ですが、「人それぞれに見え方が違う」のです。アは前半の「正確に写しとれるかどうかよりも」が、イは「誰が書いても違いが生じることのない、客観性が保たれている」が本文と矛盾します。また、エの「現実をありのままに見ることなどできるはずがない」という記述は本文にありません。

問八 登場人物の様子から、心情を読み取る問題です。子規の咯血の場面で、律と八重がどのように描かれているか注目しましょう。八重が息子の「背中をさす」るのは何のためでしょうか。また、多量の咯血をした兄の様子に「目を瞠」る律は、驚いているのでしょうか、怒っているのでしょうか。それぞれの気持ちを考えてみましょう。

問九 登場人物の様子から、心情を読み取る問題です。解答欄に合わせ、二人に共通する気持ちを考えましょう。子規の病状は思わしくなく、最後の面会になるであろうことは読み取れるはずです。二人にもそれがわかっているからこそ、祝ったり、笑顔を見せたりする気持ちの余裕がなくなっているのです。以上の点を整理してまとめましょう。



問一 傍線部の理由を考える問題ですが、理由として「適当でないもの」を答えることに注意しましょう。傍線部よりも後の部分を読んで選択肢と比べると、適当でないことが書かれた選択肢が見つかるはずです。

問二 文章の筋道をつかむ問題です。『「逆戻り」の原理』について、筆者は直後で「人間は何かを～『サボる』』ということを行います」と述べています。これを別の言葉で言い換えることができている選択肢を選びましょう。

問三 二人の人物の話し合いを通して設問を解く問題です。

(i) 語句の知識についての問題です。直前の「思い込み」という言葉に注目しつつ、「観念」にうまく続く言葉を作ります。

(ii) 言葉のきまりについての問題です。「できた」「できなかった」という対比関係をつかみましょう。「3日も継続できた」という肯定的な表現と反対に、否定的な意味を持たせるためには、「3日しか継続できなかった」という表現を用います。

(iii) 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部で『三日坊主』という言葉が大好きですと書かれていることから、筆者は「三日坊主」の良い面について述べようとしていることがわかります。華子さんの「中断しながらでも継続をする～」という発言をヒントにしながら傍線部よりも後の部分を丁寧に読むと、「たとえ断続的でも～意欲につながってきます」という部分に解答のポイントが見つかります。この部分を、iii の前後に合う形でまとめます。

問四 傍線部の理由を、わかりやすくまとめる問題です。傍線部の直前に「だから」とあるので、解答のポイントは探しやすいと思います。けれども、傍線部の直前部分をそのまま抜き書きしただけでは、「わかりやすく」書いたことにはなりません。「サボって後悔する→次はやろうという気になる」というように流れを整理して、まとめてください。

問五 文章の筋道をつかむ問題です。「サボって、またやる」の繰り返しで物事が進んでいくことを、コマがマス目を進んでいく様子で表現しています。

問六 文章の筋道に合った具体例を考える問題です。傍線部よりも後の部分に「プログラムを～二つの段階につくっておく」「ハードルは～低い台と高い台の両方を用意しておく」と書かれています。「二つの段階」のうち「低い台」にあたるのは、エの「運動量の少ない練習」です。

問七 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部の前後に「0か2か」という考え方の良くない点書かれています。これを別の言葉で言い換えることができている選択肢を選びましょう。

問八 脱落文を問題文の適当な場所に戻す問題です。脱落文中の「自責の念」と【イ】の直前の「ああ、やっておけばよかった」との対応、また、脱落文中の『「今日もまたサボろうか」などという気にはなりません」と【ウ】の直後の「逆に、やろうという気になります」との対応に注目します。戻す場所は【イ】【ウ】の二つに絞られますが、どちらがより適当でしょうか。

### 三

文の意味を理解して、正しい漢字を書けるようにしましょう。⑤「圧感」、⑥「短刀直入」などの誤答が見受けられましたが、熟語の成立した歴史的な背景なども合わせて理解すると、漢字に対する関心も高まり、楽しく学ぶことができます。